

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年4月2日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4697000034
法人名	医療法人 坂元内科クリニック
事業所名	グループホーム すまいる
所在地	鹿児島県曾於郡大崎町永吉8355-2 (電話) 099-471-7250
自己評価作成日	平成27年1月22日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

すまいるの名称にあるように笑顔で毎日を過ごして頂けるよう、毎日の介護に加え医療法人が母体である利点を活かし体調管理にも気を配って、援助を行っています。

日々少しずつでも、利用者の方が穏やかに生活を送る場所としての役割を担えるよう敷地内で出来た作物を使って食事を提供したり、季節の行事や食事などを提供しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は母体医療機関が隣接し、定期的な往診や緊急時の対応などのバックアップ体制が整っており、看護師の配置もされている。災害時の相互協力関係も構築されている。

・自治会に加入し、代表者は地域に対する貢献意欲が高く、地域に根ざした医療や福祉に取り組んでいる。

・家族からの提案で利用者の農業経験を活かし、菜園での野菜作りを始めた。家族も積極的に手伝い、収穫した旬の野菜を食材に使うなど、力量に応じて、その人らしい生活ができるように支援に取り組んでいる。

・職員は勤務年数が長く離職者も少ない。職員間のコミュニケーションも図られ利用者や家族からの信頼が厚い。

・代表者や管理者は職員育成に力を入れ、資格取得に向けた支援を行っている。職員はケア対応等の更なる向上に意欲的である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	室内に理念を掲げいつでも自分たちのケアを振り返りが出来るように勤めている。	職員全員で話し合い作成した理念で、玄関やフロア等に掲示している。日々確認し合い、ミーティング等で振り返り、具体的なケアについて理念に沿った内容の実践を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	昨年より自治会にホームとして参加させていただいて、運営推進会議にも地域代表者に参加していただき、双方向の交流が出来るように心掛けている。	自治会に加入し、回覧板等で地域と情報のやり取りがある。地域の行事にも積極的に参加し、事業所行事の敬老会などには家族や家族の友人・知人も参加している。中学生の職場体験学習やボランティアの受け入れなども行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	中学生の職場体験なども積極的に受け入れを行うと共に、地域での認知症の作業部会内でも民生委員と協力し地域への認知症理解などに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的な会議の場で、写真なども資料に加え日常の事等も議題としてより具体的な取り組みが出来る場としてサービスに活かしている。</p>	<p>当会議は行政・地域包括支援センター職員・住民代表・民生委員・家族代表の出席で定期的を開催している。事業所の状況や外部評価の報告、現在取り組んでいる内容についても意見を貰い、会議での情報を日々のサービスに活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>日頃から地域の会議などにも積極的に参加し市町村担当者とも連携を図って協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>町や地域包括支援センター担当者とは日頃から事業所の実情やサービスの取り組みを伝えアドバイスを貰っている。運営推進会議を通して協力関係もできている。「介護サービス連絡協議会」にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束禁止の宣言を玄関に掲示すると共に、職員間でも特に事故ヒヤリハットなどが起き対応を協議する際に身体拘束にあたらぬケアを提供できるように確認している。</p>	<p>身体拘束排除宣言表を事業所内に掲示してある。マニュアルを基に勉強会を実施し、日々の業務の中でその都度話し合っている。身体拘束をしないケアを実践している。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。昼間は施錠せずに職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	院内研修などで振り返りを行い虐待防止に取り組んでいる。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	成年後見制度などについて学ぶ機会を設けている。必要時は専門家への相談も含め対応する。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時にご家族の方の理解度に合わせ十分な説明を行なえるように時間も設定し、疑問点などについては細かく説明できるように努めている。後日の疑問や不安点などについてもその都度お答えしている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	意見箱も設置しているが、それ以外でもご家族からのお話の中にも含まれたご意見ご要望などについてもその都度早急に改善や変更などの対応を行なっている。	利用者からは日頃から何でも言ってもらえる雰囲気作りに留意している。家族からは面会時や電話連絡、事業所の行事、運営委員会時などに意見を聞くよい機会としている。家族の意見によりリハビリを取り入れるなどケアに反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングのみではなくその都度職員の意見や提案などは状況に即している際は話し合いの上、反映させている。</p>	<p>管理者は職員とのコミュニケーションを図り、申し送りや会議時に職員の気づきや意見・提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。提案により浴室のボードを購入するなど具体的な改善に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職場環境の整備や給与の状況なども勘案され条件は徐々に整備されている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修への参加を個人の能力にあわせ設定し内容もスタッフ間で共有しケアスタッフ全体でのスキルの向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大崎町内野事業所間のネットワークにも積極的に参加し、大隅のグループホーム協議会にも加盟し徐々に交流を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用前に自宅もしくは本人の現在の居住地を訪問し、本人のお話を聞き意見を汲み取るように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	申込の際にも必要事項だけではなくご家族の不安やお気持ちを聞くように心がけ、事前訪問の際にもご家族のご意見を聞く機会を多く持っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居の申込の際に本人・ご家族の要望や希望を聞き、ご本人の一番適したサービスを見極め他のサービス利用も含め臨機応変に対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で本人の意思を尊重しながら、役割を持つことで生活の充実を図ると共に共同生活の一員であることを感じただけのような関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族の面会などの協力も得ながらご自宅への外出支援なども含めより良い関係を築くように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>自宅近隣へのドライブや行きつけの美容院への外出や訪問などを受けるなどの関係性の維持を支援している。</p>	<p>親族や友人・知人の訪問を働きかけ、関係を継続できるよう支援している。個々人の希望に応じて自宅近辺へのドライブや行きつけの理・美容院の利用などに同行している。家族の協力を得て外出や墓参なども支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>体操やレクリエーション、テレビ鑑賞時などを通じて利用者同士が関われる時間を作っています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所後も必要に応じ状況を勘案し支援していくように努めます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活や行動、言動の中で本人が表現される内容を本人の思いを把握できるように検討している。	家族からの情報を得ながら、日々の関わりの中で、表情や言葉などから意向の把握に努めている。職員も気づきを記録し、職員間で話し合い、利用者本位の支援に結びつくよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメントのみではなく本人・家族との普段の接触の中でスタッフそれぞれが持ちえた情報を共有しそのことでこれまでの暮らしを深く理解できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々本人の状況を見ながら入居時の状況と照らし合わせながら毎日の記録などからも現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月の写真入りのモニタリングを担当職員の行なったモニタリングを補足する形で作成し、現状に即したプランを家族も含め関係者と話し合いながら作成している。	本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も取り入れ、個々に応じた介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の個人記録をケアの実際などが分かり易いようにし、職員間で情報の共有を行なっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人家族の個別のニーズにできるだけ迅速に添えるように、画一的でない個別の対応を行なっていけるように支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に地域代表の方に参加していただくと共に、地域のボランティアの方の訪問も受けるなど少しずつ活動を広げて支援していきます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時より当施設の施設長が主治医となり定期的な往診も行なわれ、健康管理も行なわれている。専門医の受診やこれまでの専門の主治医の受診に関しては家族の意見も尊重し適切な医療が受けられるように支援している。	かかりつけ医は本人や家族の意向により、母体医療機関となっている、定期的な往診や歯科の往診もある。他科受診や緊急時は本人や家族の状況に応じて支援している。医療連携体制により看護師による健康管理も行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日々の関わりの中にとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	個々の日々の状況を看護師と共有し状態に応じて臨時での受診など適切な医療を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院に関しては、入院先の相談員などとも相談の上ご家族本人の意向も踏まえ、早期に退院出来るように関係作りを行なっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に希望された方については、協力の契約を結んでいる特別養護老人ホームへの申し込みの説明も行なっている。当事業所で重度化で対応できる事柄などについても説明を行なっている。今後書類面でも明確にした物を作成中である。	重度化や終末期について事業所が取り得る対応の指針を説明し同意を得ている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、主治医と連携して家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取りの経験がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応や事故発生時の訓練を行っており今後も継続して行う。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を年2回計画し今後も行なっていく計画である。地域との協力体制は徐々に築いていけるよう努めていきます。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、昼夜間想定避難訓練を実施している。隣接の母体医療期間との協力体制もできている。スプリンクラーや緊急通報装置も設置され、緊急連絡網に地域代表も登録され協力体制が築かれている。災害時の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者個人の人格を尊重し、丁寧な言葉かけを行なえるように努めている。	利用者の人格を尊重する言葉かけや対応に留意している。特に入浴やトイレ誘導など羞恥心に対する配慮がなされている。個人記録等への取扱いにも配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で本人が自分の思いや希望を表現し易い関係が出来るようしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご自分の時間が出来上がっている方はご自分のペースですごしていただいているが、生活リズムが狂っている方に関しては、戻せるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	理容・美容は家族の散髪や美容室に行ったり来て貰ったりしている。服装は毎日の朝の整容で整えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューなども利用者の嗜好を生かしたり、出来るだけミキサー食の方も普通食の方と同じものを食べられる工夫をしたり、レクリエーションの一環としての食事を提供したり、楽しく食事できる工夫を行なっている。	菜園で採った旬の野菜を食材に取り入れ、嗜好に配慮した献立や食事形態を工夫している。敬老会や誕生会には好きな物を作ったり、ホットプレートで焼きそばやホットケーキ・お好み焼き等、食事が楽しみなものになるよう工夫している。口腔ケアにも力を入れている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況に合わせて、形態や介助方法など各個人に合わせて支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行って頂き、毎週金曜日に歯科医又は歯科衛生士の往診にてケアを行って頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを知りそのパターンに沿った誘導を行い、自立に向けた支援を行なっている。	排泄パターンを把握し、トイレでの排泄を大切にしている。オムツを減らす取り組みや排泄の自立を支援している。改善がみられた例では家族の喜びが大きい。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食に毎朝ヨーグルトを提供したり水分や食物繊維の摂取や食事の摂取方法や歩行などを促す事で予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には週三回の入浴を行なっているが、個人の希望や状況に応じて入浴を行なっている。入浴以外の日には、足浴を行なっている。	入浴は基本的に週3回であるが、体調や希望に添った入浴ができるように対応している。入浴を拒む人にも職員間で連携し、時間を変えたり声かけなど工夫して入浴支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人のご希望に沿う形での急速が出来るように環境を整備するなど支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容などを看護師よりスタッフにも説明を行い、臨時の処方後などは、状態の変化などを個人記録に残すなどの変化の把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事やレクリエーションなど生活の中で張り合いや喜びを感じていただけるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族の協力を得て自宅に外出したり、ドライブをしながらの近隣への外出なども支援している。	日常的には、散歩やドライブ、テラスでのお茶のみを楽しんだりしている。計画を立てて年2回、家族も参加しての遠足を実施している。家族の協力で外出や外食・墓参も支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在お金の管理を行なっている方はいらっしゃらないが今後希望に応じて所持できるように支援する。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話など希望の際や、贈り物のあった時などには電話が出来るように支援している。遠方のご家族にも近影が分かっていたいただける新聞や写真などをお送りし関係が離れない支援を行なっている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	適度な広さと適切な明るさもあり、歩行にも車椅子でも十分に行き来できる環境を整えている。木造建築の温かみが家庭的な雰囲気をかもし出している。	共用空間は木のぬくもりがあり、畳スペースもある。換気や採光に配慮し清潔である。ホールから直接ウッドデッキに出ることができ開放的である。季節感を大事にした飾り付けもなされている。フロアのゆったりしたソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間の中でもその時々の利用者の方の関係性も考慮したコーナーなどを作り、個人にあった居場所が確保できるように工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室の中も家族との思い出の物やテレビを持ち込まれるなどご本人に必要な物や思い入れのあるものを配置し居心地の良い空間を提供できるように工夫している。</p>	<p>居室はダンスやクローゼット・洗面所が備え付けである。身体状況や希望に応じての畳部屋もある。テレビや寝具・写真など本人や家族と相談しながら馴染みのものが持ち込まれ、温度・湿度の管理もされ、居心地よく過ごしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人一人の能力を活かして出来るだけ安全に生活できるよう状況に応じた工夫をし対応している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない